

人を感じ、自然を感じ、食を感じる。



東浦の若者が作りました
一回とってみんな?



東浦気になる人物4選

「東浦のこれまで」「東浦のこれから」を支える人たちにスポットをあて、取材させていただきました。

東浦町長 日高 輝夫さん

「とにかく楽しむ、何事も前向きに！置かれている状況を楽しむ」をモットーにして毎日全力で仕事を楽しんでいる日高町長。日高町長には3つのトピックがあるそうです。

1. 誰もがチャレンジできるまちに
2. すべての人が健康に楽しく過ごせるまちに
3. 子どもの笑顔があふれるまちに

「特に子どもの『やりたい！』を大切に、チャレンジしたい人が何かやりたいと思った時に背中を押してあげる施策を進めていきたい。さらに、全体の目標作りもやっていく予定で、型作りから構築していきたい。そのためにこの4年間しっかりと頑張っていきたい」と意気込みを語っていただきました。

仕事だけでなくプライベートでも全力で楽しむ日高町長は、食べる事と旅行が好きだそうです。得意な事は何でも美味しく食べる事とおっしゃっており、食レポは朝飯前とのこと。一番好きな食べ物は巨峰で、毎年たくさんある町内の直売所を巡って、食べているとかいえないとか…。

取材を通じて、「東浦町の魅力の中でも交通のアクセスが良好、自然が多い、住環境が良いなどの部分をもっと多くの人に知ってもらいたい！」そして、「東浦町に住みたい・住み続けたい」を感じる。または、選ばれるまちにしたい。」との言葉が印象的でした。

日高町長は皆さんとのまちづくりを目指しています。一緒に実現していきましょう！

私たちが町長に会ってきました！



南陽園 間瀬 俊文さん

農業を始めて40年。昭和56年に20歳から家業を継いでいて、令和5年度は、東浦森岡ぶどう組合の組合長を務めています。

昭和30年代、数名の方が、大府市でぶどう栽培のノウハウを学んできて、そこから東浦町でのぶどう栽培が始まったと言われています。その後、「ぶどうはいいぞ！」と仲間から誘われ、間瀬さんのお父様はぶどうを作り始めました。現在は、巨峰・シャインマスカットをはじめ15種類ほどのぶどうを栽培しています。

南陽園では、直売所を“小屋”と呼び、昔ながらの田舎くささを売りにしています。東浦森岡ぶどう組合では、10年前からぶどうゼリーも販売していましたが、“小屋”では、ぶどうそのもののほうが人気があり、ゼリーは今年で販売をやめてしまうそうです。

東浦ぶどうを知ってもらうため、昔はデパートや各駅の特設に出店していましたが、20年くらい前から認知され始め、ぶどうを買うために東浦町まで足を運んでくださる方が多くなりました。間瀬さんによると、「“小屋”がオープンしている8～9月はもちろん大事だけど、ぶどうを育てるには、この2か月よりも残りの10か月の方が大変！」だそうです。

表に見える部分だけではなく、自分の想いを信じて、ぶどう作りを楽しんでやってみえる姿がとても印象的でした。



はらだ たくよし
原田牧場 原田 拓芳さん

原田牧場は、先代が9頭の乳牛を飼い始めたのがきっかけでスタートし、35年前には畜産も始めました。現在は、乳牛60頭・肉牛135頭・仔牛6頭のお世話をしています。牛も一頭一頭性格が違うそうです。

乳牛は搾乳量に合わせた適正体重を保つように、肉牛は脂肪と筋肉とのバランスの良い肉質に育つように、エサの種類と配合を考え、朝と夕に、1回分の量をそれぞれ3回に分けて与えています。夏場は搾乳量が10%減り、水を飲む量が増えるので、牛乳の濃度も季節で変化しているそうです。

夏は扇風機とミストで涼しく、冬はヒーターをつけて暖かくし、牛の体調管理をしています。また、真夏の出産は母牛の体調に負荷がかかるため、種付けの時期をコントロールし、難産にならないように、凍結保存している5種類の種から母牛の体型に合う種を選んで人工授精させています。

取材に行かせていただいた時は、ちょうど仔牛もいて、生まれてまだ1か月も経っていない仔牛でも体高が80cm程あり、大きく見えました。

「自分が継がないとこの牧場がなくなってしまうからと継ぐことを決めたのが中学生の頃のこと。」
大変だと言いながらも、楽しそうにお仕事をされていました。



なかせ しんご
株式会社ナカセ農園 中瀬 進吾さん

ミニトマト農家を営まれている中瀬さんは、人との縁が“ナカセ農園の今”を形づくっていると感じています。

大学卒業後、製菓会社に就職した中瀬さんですが、大学時代に学んだ農業の楽しさが忘れられず、転職を決意。行動せず、将来後悔するのが嫌だったそうです。

新規就農セミナーで紹介されたミニトマト農家で研修を受け、縁あって東浦町でミニトマト農家としてスタートされました。その縁を大切に、今も、お客さんによりよいミニトマトを届けることに力を注いでいます。

今回取材をさせていただいて、やりたいと思ったらすぐ行動すること、失敗しても立ち止まらず、次何をするべきか考え続けることが大切だと学びました。また、ミニトマト作りは進吾さん、販売は奥さんが行うという風に夫婦で仕事を分けられていて、お互いを信頼しているからこそ、お互いに相手の仕事には口を出さないのだと思いました。ご夫婦の仲の良さがうかがえました。

「ミニトマト農家として始めたころは、こんなに会社が大きくなることも想像できなかった。でも、さまざまな失敗を経て、その都度考え、まず行動してみることが大切だと感じた。人それぞれ合う環境は違うため、自分に合う環境を見つけ、そこで自分のもつ力を最大限に出すことが大切。」中瀬さんの言葉に、自分の気持ちを大切に、何かあるたびにきちんと考え、選択してきた重みを感じました。

「人生なんとかなるって…さ！」



オニバス池

オニバス「ハス」とありますがハス科ではなく、スィレン科に属する、一年生水草の一種です。夏頃に巨大な葉を水面に広げます。乗れそうな大きな葉ですが、乗ってはいけません。



植物

ヘブンオンアース：オレンジまたはピンク色のコロコロとした可愛いらしいバラ。落ち着く香りは天国のイメージにぴったり。



シロツメクサ：ボールの形をした白い花を咲かせます。シロツメクサが花を咲かせると、一面が鮮やかになります。四つ葉のクローバーを生む植物です。



さまざまな植物が楽しめます♪

東浦町の中心 おだい 於大



このはな館

このはな館の中にももちゃやマレットゴルフの受付があり、老若男女問わず楽しめます。また、毎年冬期にはステンドグラス風になります。



健康遊具



健康遊具は大人も子ども楽しみながら健康について向き合うことができます。

心にある 公園



リニューアル前の遊具



遊具



リニューアル後のイメージ図

以前は長い滑り台やアスレチックなどの遊具があり、とても楽しく過ごせました。
遊具のあった部分がなんと令和6年4月にリニューアル予定！
長い滑り台、その周辺の遊具は無くなりますが、4月から新しい遊具で遊べる予定です。
リニューアル後のイメージ図を見ると、楽しい遊具ができること間違いなしですね♪



東浦の若者がおススメするお店 8 選！

トランポリンパーク TOBUPARA

Pick UP



子どもが大好きな
スタッフばかりです。
家族みんなで
遊びに来てください。

東浦町緒川旭 6-2
エンジョイビル 1 階
(イオンモール東浦)
10:00~18:00
(月・火は~16:00)
水曜休
TEL 0562-85-7177



お店からの一言

雨の日はお客さんが多いので、
予約をおすすめします。

台湾料理 千客萬来 東浦店



超本格派の麻婆豆腐や、じつり
煮込んだ角煮の黒酢豚など、
調理師が手間ひまかけた中華料
理が自慢のお店です。

東浦町森岡前田 55-1
11:30~14:30
17:00~24:00
無休 (正月は除く)
TEL 0562-84-8318



お店からの一言

皆様に支えられて 13 周年！
ありがとうございます。

風見鶏

Pick UP



【モーニング】
7:00 ~ 11:00
【ランチ】
11:30 ~ 13:30

※14:00 以降は料理の提供
ができません。

東浦町石浜中央 1-5
7:00~17:00
不定休
TEL 0562-83-9541

お店からの一言

いつもありがとうございます。
創業 24 年を迎えました！

シーダーハウス



自然に囲まれ、
ゆったりできるカフェです。
しっとりふわふわ美味しい
シフォンケーキを食べに
きませんか。

東浦町石浜三本松 48-1
9:30~15:30
土・日曜休
TEL 0562-84-8687



お店からの一言

1 日中モーニングやってます！

ルンビニカレーハウス



子どもから大人まで食べられるよう
に辛さ調節できます。
ランチ ¥690~、ディナー ¥950~
ハッピーアワー生ビール ¥275~
ナン、ライスおかわり無料

東浦町石浜中子新田 52-1
11:00~14:30
17:00~22:00
火曜休
TEL 0562-84-3348

お店からの一言

異国情緒を味わいにスパイス
カレーとナンを食べに来て下さい

さだの苑



がっつり食べたい時は
からあげ定食！
中太縮れの麺の中華
ラーメンとジューシーな
唐揚げはボリューム満点！

東浦町藤江大坪 7-15
11:30~13:30
17:00~20:30
(日曜日のみ~19:45)
水・第 3・4 木曜休
TEL 0562-83-6959



お店からの一言

一品料理の焼き豚、
肉団子もおススメです！

石田珈琲焙煎所

Pick UP



質の良いイスに座って、こだわりの
豆で淹れたコーヒーをゆつくり
楽しみませんか。
22 時まで営業しており、カクテル
やビールもご用意しています。

東浦町緒川屋敷式区 63
9:00~22:00
(土・日・祝は 8:00~)
水・木曜休
TEL なし



お店からの一言

世界各地の珈琲豆の味や香りの
違いをお楽しみください。

ル・ブラン・ネージュ



創業 35 年を迎え、今も愛され
続けている「高根の山シュー
クリーム」が一番人気！！
季節のものを使った商品も好評
です。

東浦町緒川寿久茂 175
9:00~19:30
喫茶コーナーは 16:00 まで
水・第 4 火曜休
TEL 0562-34-2639



お店からの一言

購入数が多い場合は、
事前にご予約をお願いします。

実際に私たちが取材に行ってきました！
子どもから大人まで様々な世代の人が楽しめるようなお店を選びました。
どこのオーナーさんもとても親切で快く取材を受けてくださいました。

飛んで、跳ねて、遊ぶ！

トランポリンパーク TOBUPARA



ボールプールは
0～3歳用



一つのエリアに様々なアトラクションがあり、大人も子どもも楽しみながら体を動かすことで、運動不足も解消できます。
大人の見学スペースもあり、近くで遊んでいるお子様を見守っていただけます。

昔ながらの喫茶店

風見鶏

店内は落ち着いた雰囲気で、
ゆっくり過ごせます。
ギャラリーが併設されていて、
いろいろな展示を楽しむことができます。



1番人気の
鉄板スパ！



ガチで
うまい！！



お客さん一人ひとりのコミュニケーション
を大切にしている、とても明るい店内です。
1番人気の鉄板スパには、愛情という隠し味
を入れているそうです！

仕事帰りにほっと一息

石田珈琲焙煎所

Coffee



▲石田珈琲焙煎所は、住宅街や大通り
から少し外れたところにある落ち着いた
雰囲気の珈琲屋さんです。

▶コーヒーは一杯一杯丁寧に淹れるため、
混雑時は提供まで時間がかかることもあ
りますが、そんなことは忘れてしまうく
らい絶品！人気のスイーツ、カッサータ
もとてもおいしいです♪



◀店主の「家で飲むにしても、より良いコーヒーを飲ん
でほしい！」という想いから、販売しているコーヒ
ー豆は全てスペシャルティコーヒー。
また、手に取りやすい破格の値段で販売されています。



◀販売しているコーヒーは、
この焙煎機を使って焙煎し
ています。
この焙煎機はポルトガルか
ら運んできたもので、なん
と愛知県にはこの1台だけ！

大まかな 公共交通 MAP

1乗車100円!

東浦町運行バス 「う・ら・ら」

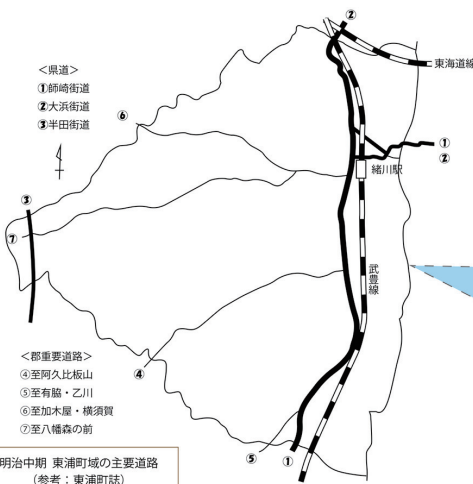


「う・ら・ら」は、1乗車100円で、どこまでも乗車することができ、「う・ら・ら」から「う・ら・ら」への乗り継ぎは無料です。さらに「う・ら・ら」から刈谷市や大府市のバスにも乗り継ぐことができるので、ちょっとしたお出かけにおすすめです。また、東浦町内には「う・ら・ら」の他に知多バスの路線が3路線運行しています。

路線図・時刻表



東浦町運行バス「う・ら・ら」
路線図



明治中期 東浦町域の主要道路
(参考：東浦町誌)

JR武豊線



東浦町内にはJR武豊線が通っており、人々の重要な交通手段の1つとして現在使われています。
明治17年、東海地方でも鉄道の敷設が進められました。当時、名古屋には大きな港がなかったため、鉄道建設の資材は武豊港に陸揚げされました。その建設資材を名古屋、さらに大垣に輸送するため、明治18年に武豊港～熱田間の鉄道工事が始まりました。
武豊港～熱田間は、着工からたった5か月で完成したと言われています。これが東海地方で最初の鉄道でした。
JR東海道線ができてからは、大府～武豊がJR武豊線となりました。

道路網

東浦町は知多半島の根元に位置し、古くから名古屋・知多半島・西三河南部を結ぶ交通の要地でした。
明治時代、東浦町内を通る県道としては、師崎街道、半田街道、大浜街道があり、現在でもこれらの道は残っています。



「いいだら東浦」編集委員会 東浦高校生

「いいだら東浦」いかがでしたか？
ちなみに「いいだら」とは、この地方の方言で「いいでしょう」といった意味合いです。また、表紙の『一回とってみん？』もこの地方独特の言い回しで「一度この冊子を手にとってみませんか？」といった願いが込められています。
今回は高校生・大学生が主体となって取材等を行い、内容やレイアウトを自分たちで作りました。あまり慣れないことに戸惑いつつも全力で取り組みました。多少雑味があるかもしれませんが、それでも、皆様がわかりやすかった、面白いと思ってくださるなら、私たちはうれしく思います。

発行：東浦町教育委員会 令和5年10月
編集：「いいだら東浦」編集委員会、東浦町生涯学習課
〒470-2103 愛知県知多郡東浦町大字石浜字岐路10番地(東浦町文化センター)
TEL:0562-83-9567 FAX:0562-84-2202

「いいだら東浦」は、愛知県生涯学習推進センターの令和5年度地域課題解決支援事業の採択を受け、愛知県立東浦高等学校の生徒ならびに東浦町内に在住の若者の有志により編集・発行しています。